

熊本市子ども・子育て支援事業計画

令和3年度進行管理

及び中間見直し(案)

目次

1	趣旨・概要	1
2	推計人口	3
3	量の見込みと確保の方策	
1.	教育・保育	6
2.	一時預かり事業	
	(1)在園児対象型	8
	(2)在園児対象型以外	10
3.	時間外保育事業	12
4.	利用者支援事業(基本型・特定型)	14
4.	利用者支援事業(母子保健型)	15
5.	放課後児童健全育成事業(児童育成クラブ)	16
6.	子育て短期支援事業(ショートステイ)	18
7.	乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)	20
8.	養育支援訪問事業、要保護児童等支援事業	22
9.	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	24
10.	病児・病後児保育事業	26
11.	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)	28
12.	妊婦健康診査	30
13.	実費徴収に係る補足給付を行う事業	32
14.	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	33

1 趣旨・概要

(1) 子ども・子育て支援事業計画とは

子ども・子育て支援法第61条に基づき、子ども・子育て支援給付にかかる幼児期の学校教育や保育、及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の実施に関する確保等を図るため、5年を1期として5年間の実施内容を定めたもの。

平成27年度から令和元年度(2019年度)の第1期に続き、現計画は令和2年度(2020年度)から令和6年度(2024年度)の第2期計画。

		事業等名	教育・保育提供区域
教育・保育	1	1号認定区分(3～5歳、教育のみ利用)	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域(27圏域)を統合して設定する8区域
		2号認定区分(3～5歳 保育の必要性あり)	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域(27圏域)
		3号認定区分(0～2歳 保育の必要性あり)	
地域子ども・子育て支援事業	2	一時預かり事業	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域(27圏域)
	3	時間外保育事業	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における「日常生活圏域」を参考として定める区域(27圏域)
	4	利用者支援事業	行政区
	5	放課後児童健全育成事業(児童育成クラブ)	市全域
	6	子育て短期支援事業(ショートステイ)	市全域
	7	乳児家庭全戸訪問事業(こんには赤ちゃん事業)	行政区
	8	養育支援訪問事業・要保護児童等に対する支援に資する事業	行政区
	9	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	市全域
	10	病児・病後児保育事業	市全域
	11	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)	市全域
	12	妊婦健康診査	市全域
	13	実費徴収に係る補足給付を行う事業	—
	14	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	—

計画内容は、事業ごと、提供区域ごとに、利用者のニーズ量「量の見込み」、その提供体制の確保の内容「確保方策」及びその実施時期を定めている。

また、計画策定にあたっては、事業の利用実績やその利用意向、子どもとその家庭を取り巻く実情等を把握するため、保護者に対する調査(ニーズ調査)を実施し、国が示す手引きに基づき「量の見込み」を推計した。

なお、この計画は「子ども輝き未来プラン」の個別計画として、熊本市子ども・子育て会議(現児童福祉専門分科会)において審議したもの。

(2) 見直しの必要性

量の見込みと実績値が大きく乖離している場合には、適切な基盤整備を行うため計画の見直しが必要であり、市町村は、計画期間の中間年を目安として、必要な場合には、市町村子ども・子育て支援事業計画の見直しを行うこととされている。(**「教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の整備並びに子ども・子育て支援給付並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針」**(平成二十六年内閣府告示第百五十九号))

本市においても、量の見込みと実績値に乖離があるため、中間年である令和4年度に、実績を踏まえ、推計児童数やニーズ量・供給体制の変化を検証し、必要な見直しを行う。

(3)見直しの方法

①見直しの要否

- ・実績値と量の見込みと比較し、10%以上の乖離があるなど、実績値が大きく乖離している場合、原則として見直しが必要(国の手引き)。
- ・実績値と量の見込みと比較、10%以上乖離している場合に該当はしないが、独自の判断により、見直しを行う。

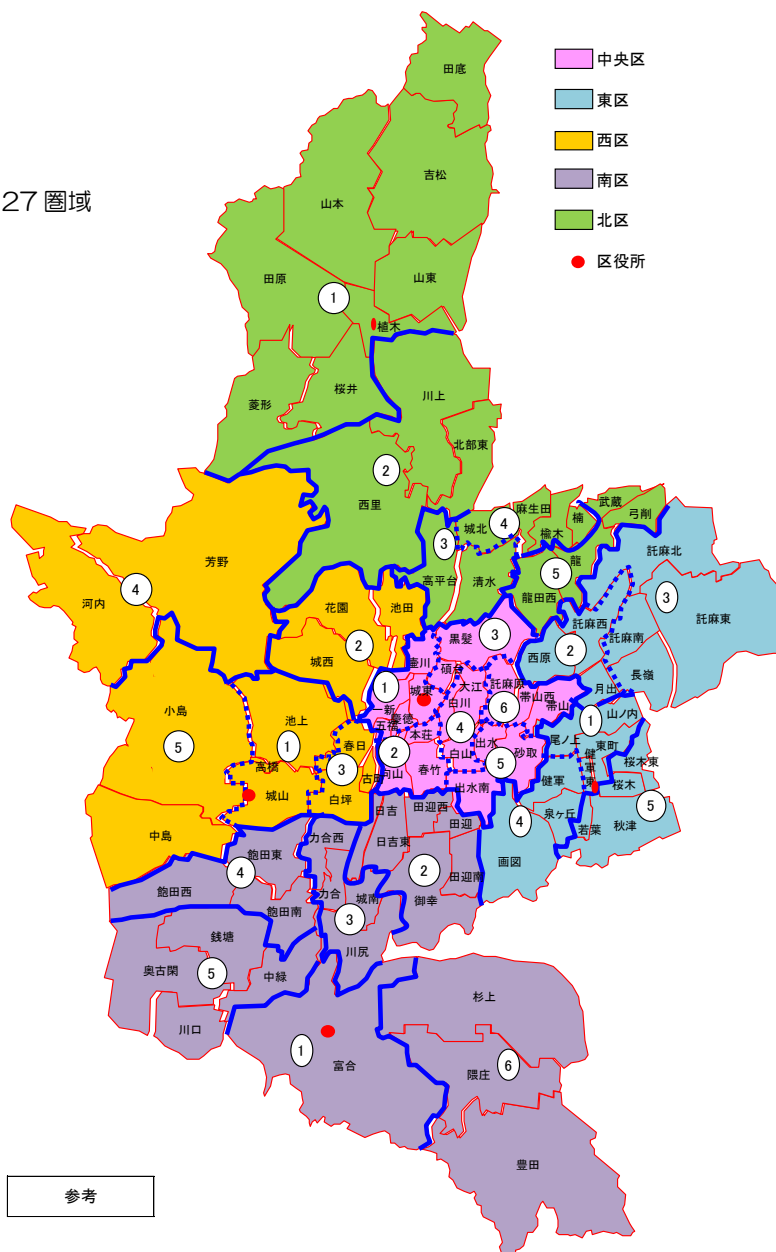
②見直しの手順

ア. 実績値の把握

イ.「実績値」と「量の見込み」との比較

ウ. 要因分析及び補正

27 卷域

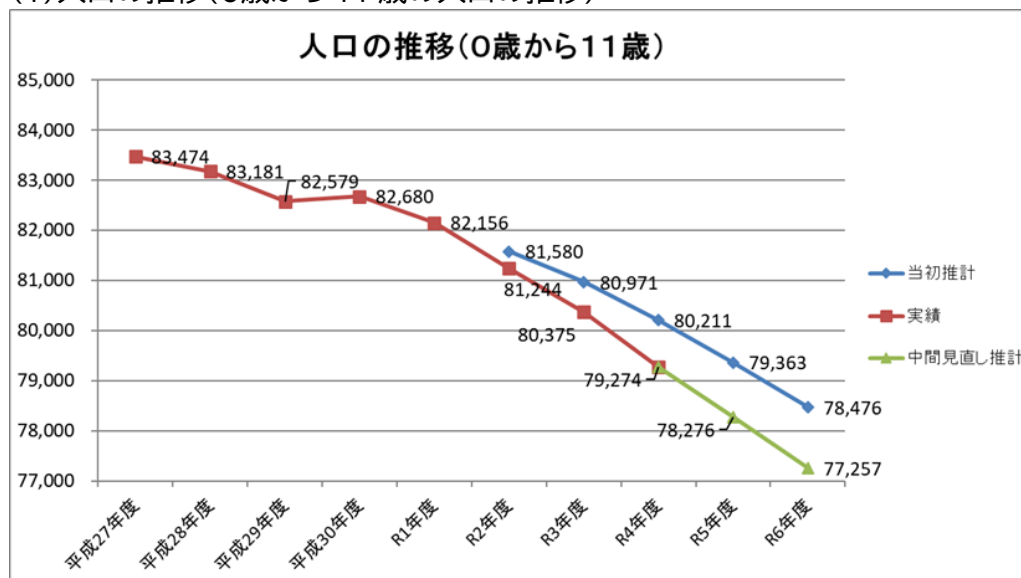


2 推計人口

当初計画時は、コーホート変化率※を用いて推計した。

今回の中間見直しにあたり、令和 4 年度までの住民基本台帳の実績値の推移を見たところ、市全体として当初推計と比較し 1,000 人程度減少しており、圏域ごとの実績の推移を踏まえ、令和6年度までの児童数を改めて推計する。

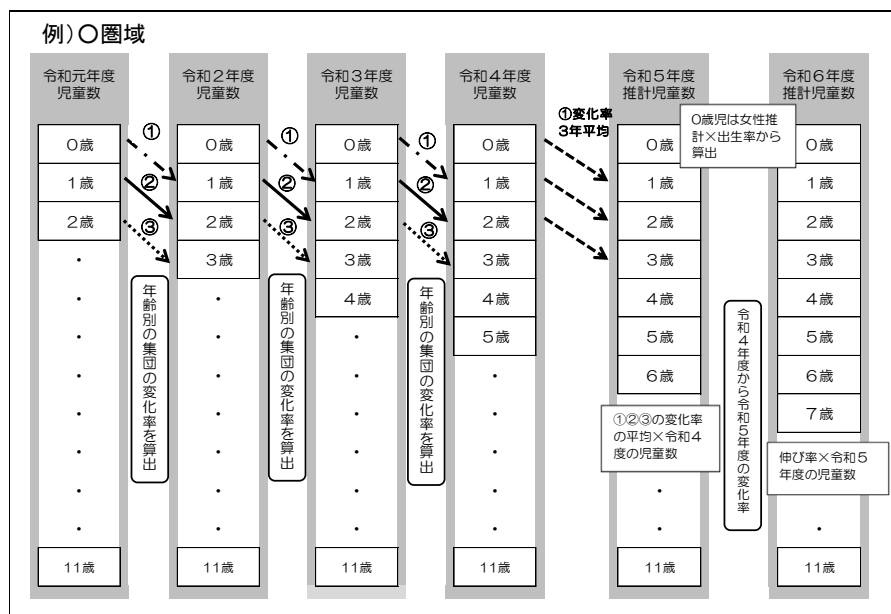
(1)人口の推移(0歳から 11 歳の人口の推移)



(2)推計方法

コーホート変化率を用いて算出した。

推計は、熊本市を 27 圏域に分けそれぞれで算出し、全市分を積み上げた。



※コーホート変化率法とは、あるコーホート(同時出生集団)の一定期間における人口の変化率に着目し、その変化率が対象地域の年齢別人口変化の特徴であり、将来にわたって維持されるものと仮定して、将来人口を算出する方法。

(3)全市及び区ごとの推計人口及び実績

全 市

単位: 人

年齢	平30年度	令和元年度	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	実績	実績	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	今回推計	差	当初計画 推計	今回推計	差
0歳	6,615	6,401	6,336	6,056	-280	6,223	5,927	-296	6,116	5,973	-143	6,019	5,897	-122	5,930	5,825	-105
1歳	6,746	6,695	6,503	6,567	64	6,436	6,119	-317	6,322	5,993	-329	6,216	6,079	-137	6,114	5,993	-121
2歳	6,882	6,696	6,689	6,673	-16	6,491	6,511	20	6,434	6,073	-361	6,317	5,973	-344	6,207	6,059	-148
3歳	6,875	6,833	6,695	6,634	-61	6,694	6,667	-27	6,494	6,477	-17	6,437	6,058	-379	6,323	5,966	-357
4歳	6,851	6,850	6,815	6,842	27	6,676	6,619	-57	6,680	6,627	-53	6,480	6,473	-7	6,424	6,058	-366
5歳	6,824	6,861	6,852	6,872	20	6,819	6,848	29	6,680	6,614	-66	6,687	6,641	-46	6,490	6,488	-2
6歳	6,911	6,822	6,852	6,842	-10	6,840	6,859	19	6,808	6,826	18	6,677	6,606	-71	6,684	6,633	-51
7歳	6,984	6,948	6,852	6,851	-1	6,886	6,878	-8	6,872	6,848	-24	6,840	6,850	10	6,712	6,624	-88
8歳	7,016	6,998	6,955	6,941	-14	6,867	6,858	-9	6,894	6,898	4	6,882	6,861	-21	6,854	6,858	4
9歳	6,953	7,025	7,018	7,003	-15	6,970	6,980	10	6,885	6,887	2	6,915	6,927	12	6,902	6,887	-15
10歳	7,055	6,959	7,030	7,015	-15	7,018	7,042	24	6,979	6,988	9	6,890	6,899	9	6,924	6,942	18
11歳	6,968	7,068	6,983	6,948	-35	7,051	7,067	16	7,047	7,070	23	7,003	7,012	9	6,912	6,924	12
合計	82,680	82,156	81,580	81,244	-336	80,971	80,375	-596	80,211	79,274	-937	79,363	78,276	-1,087	78,476	77,257	-1,219

中央区

単位: 人

年齢	平30年度	令和元年度	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	実績	実績	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	今回推計	差	当初計画 推計	今回推計	差
0歳	1,509	1,452	1,396	1,360	-36	1,384	1,295	-89	1,374	1,279	-95	1,367	1,327	-40	1,360	1,305	-55
1歳	1,486	1,510	1,453	1,404	-49	1,396	1,297	-99	1,384	1,261	-123	1,374	1,239	-135	1,367	1,284	-83
2歳	1,431	1,453	1,483	1,465	-18	1,423	1,314	-109	1,370	1,251	-119	1,358	1,207	-151	1,348	1,189	-159
3歳	1,482	1,416	1,462	1,427	-35	1,497	1,420	-77	1,437	1,298	-139	1,382	1,230	-152	1,371	1,185	-186
4歳	1,456	1,453	1,395	1,394	-1	1,440	1,373	-67	1,477	1,399	-78	1,419	1,267	-152	1,365	1,204	-161
5歳	1,460	1,450	1,442	1,452	10	1,383	1,380	-3	1,428	1,368	-60	1,468	1,397	-71	1,409	1,261	-148
6歳	1,342	1,445	1,433	1,444	11	1,427	1,415	-12	1,366	1,372	6	1,412	1,354	-58	1,457	1,383	-74
7歳	1,460	1,351	1,453	1,440	-13	1,440	1,454	14	1,434	1,400	-34	1,375	1,369	-6	1,419	1,351	-68
8歳	1,577	1,451	1,342	1,346	4	1,447	1,427	-20	1,433	1,454	21	1,426	1,395	-31	1,367	1,363	-4
9歳	1,417	1,569	1,452	1,441	-11	1,340	1,349	9	1,447	1,427	-20	1,435	1,453	18	1,427	1,395	-32
10歳	1,483	1,423	1,572	1,572	0	1,455	1,432	-23	1,347	1,332	-15	1,453	1,420	-33	1,442	1,446	4
11歳	1,473	1,469	1,421	1,431	10	1,572	1,581	9	1,455	1,441	-14	1,345	1,339	-6	1,453	1,428	-25
合計	17,576	17,442	17,304	17,176	-128	17,204	16,737	-467	16,952	16,282	-670	16,814	15,997	-817	16,785	15,794	-991

東 区

単位: 人

年齢	平30年度	令和元年度	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	実績	実績	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	今回推計	差	当初計画 推計	今回推計	差
0歳	1,770	1,778	1,722	1,656	-66	1,694	1,620	-74	1,667	1,639	-28	1,642	1,611	-31	1,616	1,585	-31
1歳	1,816	1,804	1,814	1,852	38	1,752	1,702	-50	1,725	1,643	-82	1,698	1,684	-14	1,672	1,656	-16
2歳	1,914	1,836	1,836	1,826	-10	1,843	1,867	24	1,783	1,721	-62	1,754	1,664	-90	1,726	1,707	-19
3歳	1,900	1,914	1,843	1,816	-27	1,846	1,858	12	1,851	1,844	-7	1,789	1,719	-70	1,761	1,662	-99
4歳	1,909	1,917	1,931	1,925	-6	1,861	1,839	-22	1,862	1,848	-14	1,869	1,855	-14	1,806	1,730	-76
5歳	1,892	1,925	1,925	1,932	7	1,940	1,944	4	1,871	1,832	-39	1,874	1,857	-17	1,879	1,864	-15
6歳	2,003	1,922	1,937	1,917	-20	1,936	1,953	17	1,950	1,940	-10	1,884	1,836	-48	1,886	1,861	-25
7歳	1,935	2,014	1,932	1,957	25	1,948	1,949	1	1,948	1,966	18	1,962	1,969	7	1,896	1,863	-33
8歳	1,907	1,964	2,029	2,006	-23	1,949	1,998	49	1,964	1,962	-2	1,964	1,983	19	1,981	1,984	3
9歳	1,934	1,917	1,971	1,961	-10	2,034	2,031	-3	1,957	2,020	63	1,972	1,977	5	1,971	1,997	26
10歳	2,018	1,939	1,924	1,917	-7	1,977	1,984	7	2,042	2,033	-9	1,964	2,028	64	1,980	1,986	6
11歳	1,937	2,021	1,948	1,943	-5	1,930	1,937	7	1,986	1,985	-1	2,049	2,041	-8	1,973	2,038	65
合計	22,935	22,951	22,812	22,708	-104	22,710	22,682	-28	22,606	22,433	-173	22,421	22,224	-197	22,147	21,933	-214

西 区

単位:人

年齢	平30年度	令和元年度	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	実績	実績	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	今回推計	差	当初計画 推計	今回推計	差
0歳	670	699	680	669	-11	666	692	26	655	666	11	644	665	21	635	662	27
1歳	786	679	713	718	5	694	676	-18	679	682	3	668	669	1	655	667	12
2歳	747	777	669	696	27	705	716	11	686	687	1	670	693	23	659	677	18
3歳	740	731	762	774	12	653	695	42	689	713	24	672	685	13	657	693	36
4歳	721	746	727	740	13	758	779	21	652	690	38	687	719	32	666	689	23
5歳	723	726	748	753	5	731	732	1	761	766	5	652	685	33	690	716	26
6歳	750	714	717	721	4	738	741	3	720	739	19	752	763	11	642	683	41
7歳	736	759	715	722	7	719	731	12	739	748	9	724	750	26	755	772	17
8歳	745	729	757	762	5	713	726	13	716	738	22	736	753	17	721	754	33
9歳	773	757	734	730	-4	762	772	10	718	727	9	722	742	20	741	756	15
10歳	776	767	755	746	-9	729	743	14	760	777	17	715	730	15	718	744	26
11歳	780	774	762	767	5	750	762	12	727	750	23	756	786	30	710	737	27
合計	8,947	8,858	8,739	8,798	59	8,618	8,765	147	8,502	8,683	181	8,398	8,640	242	8,249	8,550	301

南 区

単位:人

年齢	平30年度	令和元年度	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	実績	実績	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	今回推計	差	当初計画 推計	今回推計	差
0歳	1,386	1,310	1,305	1,260	-45	1,281	1,271	-10	1,254	1,301	47	1,233	1,246	13	1,213	1,246	33
1歳	1,404	1,410	1,352	1,402	50	1,350	1,299	-51	1,325	1,327	2	1,297	1,366	69	1,275	1,308	33
2歳	1,471	1,396	1,426	1,423	-3	1,365	1,415	50	1,364	1,316	-48	1,340	1,347	7	1,312	1,386	74
3歳	1,409	1,473	1,409	1,401	-8	1,439	1,441	2	1,377	1,423	46	1,378	1,332	-46	1,353	1,368	15
4歳	1,460	1,402	1,480	1,488	8	1,415	1,428	13	1,448	1,445	-3	1,382	1,442	60	1,385	1,350	-35
5歳	1,429	1,465	1,411	1,415	4	1,489	1,494	5	1,423	1,440	17	1,457	1,457	0	1,392	1,456	64
6歳	1,500	1,440	1,490	1,479	-11	1,432	1,445	13	1,514	1,497	-17	1,448	1,461	13	1,483	1,476	-7
7歳	1,502	1,511	1,452	1,439	-13	1,503	1,475	-28	1,444	1,437	-7	1,523	1,494	-29	1,461	1,457	-4
8歳	1,435	1,506	1,511	1,530	19	1,453	1,433	-20	1,501	1,470	-31	1,445	1,442	-3	1,525	1,497	-28
9歳	1,445	1,438	1,512	1,513	1	1,518	1,529	11	1,458	1,443	-15	1,507	1,476	-31	1,451	1,448	-3
10歳	1,397	1,439	1,434	1,438	4	1,506	1,523	17	1,513	1,529	16	1,454	1,447	-7	1,502	1,481	-21
11歳	1,392	1,407	1,450	1,425	-25	1,444	1,451	7	1,519	1,530	11	1,524	1,531	7	1,462	1,449	-13
合計	17,230	17,197	17,232	17,213	-19	17,195	17,204	9	17,140	17,158	18	16,988	17,041	53	16,814	16,922	108

北 区

単位:人

年齢	平30年度	令和元年度	令和2(2020)年度			令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度		
	実績	実績	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	実績	差	当初計画 推計	今回推計	差	当初計画 推計	今回推計	差
0歳	1,280	1,162	1,233	1,111	-122	1,198	1,049	-149	1,166	1,088	-78	1,133	1,048	-85	1,106	1,027	-79
1歳	1,254	1,292	1,171	1,191	20	1,244	1,145	-99	1,209	1,080	-129	1,179	1,121	-58	1,145	1,078	-67
2歳	1,319	1,234	1,275	1,263	-12	1,155	1,199	44	1,231	1,098	-133	1,195	1,062	-133	1,162	1,100	-62
3歳	1,344	1,299	1,219	1,216	-3	1,259	1,253	-6	1,140	1,199	59	1,216	1,092	-124	1,181	1,058	-123
4歳	1,305	1,332	1,282	1,295	13	1,202	1,200	-2	1,241	1,245	4	1,123	1,190	67	1,202	1,085	-117
5歳	1,320	1,295	1,326	1,320	-6	1,276	1,298	22	1,197	1,208	11	1,236	1,245	9	1,120	1,191	71
6歳	1,316	1,301	1,275	1,281	6	1,307	1,305	-2	1,258	1,278	20	1,181	1,192	11	1,216	1,230	14
7歳	1,351	1,313	1,300	1,293	-7	1,276	1,269	-7	1,307	1,297	-10	1,256	1,268	12	1,181	1,181	0
8歳	1,352	1,348	1,316	1,297	-19	1,305	1,274	-31	1,280	1,274	-6	1,311	1,288	-23	1,260	1,260	0
9歳	1,384	1,344	1,349	1,358	9	1,316	1,299	-17	1,305	1,270	-35	1,279	1,279	0	1,312	1,291	-21
10歳	1,381	1,391	1,345	1,342	-3	1,351	1,360	9	1,317	1,317	0	1,304	1,274	-30	1,282	1,285	3
11歳	1,386	1,397	1,402	1,382	-20	1,355	1,336	-19	1,360	1,364	4	1,329	1,315	-14	1,314	1,272	-42
合計	15,992	15,708	15,493	15,349	-144	15,244	14,987	-257	15,011	14,718	-293	14,742	14,374	-368	14,481	14,058	-423

3 量の見込みと確保の方策

1. 教育・保育

【計画概要】

計画期間中(2020 年～2024 年の 5 か年)の量の見込み(需要量+「本市が定める数」と確保の状況(供給量)を設定し、子ども・子育て支援事業計画の推進を図るもの。

○ 見直しの判断とその理由

令和 3 年 4 月 1 日時点で、量の見込みと実績に 10%以上の乖離が生じている圏域があったため見直しを行うもの。

○ 見直し後の計画

教育(1号)、保育(2・3号) 総計												
			2020年度(令和2年度)					2021年度(令和3年度)				
			1号	2号		3号		1号	2号		3号	
				教育希望	左記以外	0歳	1～2歳		教育希望	左記以外	0歳	1～2歳
①	純ニーズ量 (※R2～R4は実績値)		6,537	12,380		9,939		6,482	12,356		9,555	
	940	11,440		1,504	8,435	1,083	11,273		1,450	8,105		
	②	本市が定める数		3,271	6,190		4,970		3,243	6,178		4,778
470		5,720	752		4,218	542	5,637	725		4,053		
	量の見込み(①+②) (※R2～R4は実績値)		9,808	18,570		14,909		9,725	18,534		14,333	
	1,410	17,160		2,256	12,653	1,625	16,910		2,175	12,158		
	(参考:計画当初の 量の見込み)		11,025	18,630		15,516		10,937	19,016		15,947	
	5,759	12,872		2,390	13,127	5,877	13,139		2,448	13,499		
③	現況推計による確保の状況 (※R2～R4は実績値)		9,526	12,504		10,069		9,154	12,826		10,181	
	940	11,564		2,485	7,584	1,083	11,743		2,652	7,529		
	幼稚園		5,041					4,653				
	幼稚園預り保育			940					1,083			
	認定こども園(幼稚園部分)		4,485					4,501				
	認定こども園(保育所部分)				5,492	937	3,094			6,048	1,120	3,231
	保育所				5,873	1,061	3,337			5,442	1,022	3,096
	地域型保育事業				0	392	922			0	405	926
	企業主導型保育事業				199	95	231			253	105	276
③ - ①			2,989	254				2,672	1,096			
124				981	▲ 851	470			1,202	▲ 576		
④ 今後想定確保策案												
施設整備等												
地域型保育事業												

○ 確保の方策について

【1号認定への確保の方策】

・市内全域で需要量<供給量となるため、特段の対応を要しない。

【2号・3号への確保の方策】

・市内全域で 2 号・3 号の総数が需要<供給となるため、新たな施設の創設等を行わない。しかしながら、1・2 歳で供給不足が発生しているため、既存幼稚園からの認定こども園への移行を促すとともに、既存施設の定員転換(2 号から 3 号へ定員の割り振りを変える)を勧奨していき、供給不足へ対応する。

①純ニーズ量(需要量):1, 2, 3号それぞれの在園児数

②本市が定める数:純ニーズ量の概ね50%

→ 量の見込み:①+②

③確保の状況(供給量):各施設の利用定員数

→ ③-①=(供給量)-(需要量)=保育(教育)供給過不足数

(人)

2022年度(令和4年度)					2023年度(令和5年度) ※推計					2024年度(令和6年度) ※推計				
1号	2号		3号		1号	2号		3号		1号	2号		3号	
	教育希望	左記以外	0歳	1~2歳		教育希望	左記以外	0歳	1~2歳		教育希望	左記以外	0歳	1~2歳
5,911	12,327		9,387		5,335	12,167		9,505		4,751	11,950		9,589	
	1,067	11,260	1,502	7,885		1,021	11,146	1,521	7,984		1,006	10,944	1,526	8,063
2,957	6,164		4,694		2,670	6,084		4,753		2,378	5,975		4,795	
	534	5,630	751	3,943		511	5,573	761	3,992		503	5,472	763	4,032
8,868	18,491		14,081		8,005	18,251		14,258		7,129	17,925		14,384	
	1,601	16,890	2,253	11,828		1,532	16,719	2,282	11,976		1,509	16,416	2,289	12,095
10,752	18,704		16,455		10,616	18,464		16,172		10,421	18,123		15,896	
	5,783	12,921	2,507	13,949		5,706	12,758	2,463	13,709		5,600	12,524	2,424	13,472
8,585	13,068		10,264		8,255	13,012		10,258		8,255	12,997		10,258	
	1,067	12,001	2,655	7,609		1,021	11,991	2,653	7,605		1,006	11,991	2,653	7,605
4,156					3,790					3,790				
	1,067					1,021					1,006			
4,429					4,465					4,465				
		6,465	1,088	3,311			6,593	1,102	3,373			6,593	1,102	3,373
		5,242	1,016	3,013			5,104	1,000	2,947			5,104	1,000	2,947
		0	402	919			0	402	919			0	402	919
		294	149	366			294	149	366			294	149	366
2,674	1,618				2,920	1,598				3,504	1,716			
	741	1,153	▲ 276			845	1,132	▲ 379			1,047	1,127	▲ 458	

(1) 教育・保育の認定区分について

1号……3～5歳 幼児教育のみ
2号……3～5歳 保育の必要性あり
3号……0～2歳 保育の必要性あり

<保育の必要性>

①就労 ②妊娠、出産 ③保護者の疾病、障がい
④同居親族等の介護・看護 ⑤災害復旧 ⑥求職活動など

(2) 提供区域の設定について

教育(1号) 8園域……現行の利用実態を踏まえ、保育(2・3号)提供区域より広範囲な区域を設定
保育(2・3号) 27園域……熊本市介護保険計画における「日常生活圏域」を参考として設定

(3) 量の見込みについて

教育(1号) 過去3か年の平均申請伸び率と、推計人口より推計
保育(2・3号) 過去3か年の平均申請伸び率と、推計人口より推計

2. 一時預かり事業

(1) 在園児対象型(教育時間前後等の幼稚園在園児一時預かり事業)

【事業概要】

幼稚園、認定こども園の在園児を通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、保護者の要請等に応じて預かる事業

○見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	保育幼稚園課					
提供区域	27圏域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	130,925	129,878	127,670	126,010	123,742
確保方策	・教育時間前後、長期休業期間(夏休み等)の幼稚園在園児の一時預かりであるため、施設整備等の対応を要しない。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。					
③実績(人)	133,430	137,424	152,395	168,997	※R4年度は見込み数	
①－③	-	-6,499	-22,517	-41,327		
予算	84,900千円	92,700千円	108,000千円			
決算	73,577千円	82,436千円	91,434千円			

○ 令和 3 年度までの取組状況

令和元年度 幼保連携型認定こども園等 87 ヶ所で実施

(補助対象園 46 ヶ所、自主事業 41 ヶ所)

令和 2 年度 幼保連携型認定こども園等 94 ヶ所で実施

(補助対象園 58 ヶ所、自主事業 36 ヶ所)

令和 3 年度 幼保連携型認定こども園等 101 ヶ所で実施

(補助対象園 64 ヶ所、自主事業 37 ヶ所)

○ 分析・課題

・当初の計画では推計人口とアンケート調査を基に、量の見込みを推計していたが、保育所等から認定こども園等への移行や利用料の無償化の影響もあり、計画値より実際のニーズが高かった。確保の方策については、自主事業園の利用者も含め、実際の利用ニーズには十分対応している。

○ 今後の方向性

・一時預かり事業(幼稚園型)の利用ニーズに的確に対応できるよう各事業者に対し、必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。

○ 見直しの判断とその理由

・量の見込みと実績に乖離があるため、令和2、3年度の利用実績ベースに量の見込みを推計。令和2年度から令和3年度の伸び率110.89%。確保の方策については、自主事業園の利用者も含め、実際の利用ニーズには十分対応しているため、見直しは行わない。

○ 見直し後の計画

単位 人／年						
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	133,430	137,424	152,395	168,997	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					187,408	207,824
②' 見直し後の確保の内容(人)					-	-
②' -①'						
確保方策	・教育時間前後、長期休業期間(夏休み等)の幼稚園在園児の一時預かりであるため、施設整備等の対応を要しない。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。					

(2) 在園児対象型以外(保護者が病気等で一時的に家庭での保育が困難な場合の一時預かり事業)

【事業概要】

保育所等を利用していない家庭において、保護者が病気や冠婚葬祭などで家庭での保育が困難な場合に、保育所等で一時的に在園児以外を預かる事業

○ 見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	保育幼稚園課					
提供区域	27圏域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	7,367	5,603	4,262	4,262	4,262
確保方策	・保育時間中の定数の余裕分を用いて在園児以外を預かる「自主事業」と、専用室を用意して在園児以外を預かる「補助事業」がある。 ・今後、保育需要が増加することに伴い、在園児以外の児童の一時預かりは減少傾向であり特段の対応を要しない。					
③実績(人)	11,714	8,744	8,055	7,420	※R4年度は見込み数	
①－③	-	-1,377	-2,452	-3,158		
予算	22,700千円	22,700千円	20,400千円			
決算	18,420千円	15,352千円	14,280千円			

○ 令和3年度までの取組状況

- ・令和2年度 公立・・・補助事業 1ヶ所、自主事業 18ヶ所
 私立・・・補助事業9ヶ所、自主事業141ヶ所
- ・令和3年度 公立・・・補助事業 1ヶ所、自主事業 18ヶ所
 私立・・・補助事業9ヶ所、自主事業145ヶ所

○ 分析・課題

- ・当初の計画では、過去 3 年分の平均値を基に推計していたが、実際の利用が多かった。

○ 今後の方向性

- ・利用者のニーズに対応できるよう事業所等に一時預かり事業の周知を継続的に働きかけていく。

○ 見直しの判断とその理由

- ・量の見込みと実績に乖離があるため、令和2、3年度の利用実績ベースに量の見込みを推計。令和2年度から令和3年度の伸び率92.12%。なお、現在の供給体制で対応が可能であり、確保方策の見直しは要しない。

○ 見直し後の計画

単位 人／年						
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	11,714	8,744	8,055	7,420	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					6,836	6,297
②' 見直し後の確保の内容(人)					-	-
②' - ①'						
確保方策	・保育時間中の定数の余裕分を用いて在園児以外を預かる「自主事業」と、専用室を用意して在園児以外を預かる「補助事業」がある。 ・今後、保育需要が増加することに伴い、在園児以外の児童の一時預かりは減少傾向であり特段の対応を要しない。					

3. 時間外保育事業

【事業概要】

保護者の就労等、やむを得ない事情で保育時間の延長が必要な児童を、通常の利用日及び利用時間帯以外の日及び時間において保育する事業

○見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	保育幼稚園課					
提供区域	27圏域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	16,082	17,928	19,986	19,986	19,986
確保方策	・保育時間前後の在園児の時間外保育であるため、施設整備等の対応を要しない。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。					
③実績(人)	13,932	9,577	10,432	11,364	※R4年度は見込み数	
①－③	-	6,505	7,496	8,622		
予算	179,606千円	223,700千円	242,300千円			
決算	183,190千円	169,192千円	186,654千円			

○ 令和3年度までの取組状況

- ・令和2年度 公立19ヶ所、私立154ヶ所で実施
- ・令和3年度 公立19ヶ所、私立154ヶ所で実施

○ 分析・課題

- ・当初の計画では、昨年度実績を基に推計していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実際の利用が低かった。そのため利用ニーズには十分対応できた。

○ 今後の方向性

- ・利用ニーズに的確に対応できるよう各事業者の開所時間や人的配置について、継続的に働きかける。

○ 見直しの判断とその理由

- ・量の見込みと実績に乖離があるため、令和2、3年度の利用実績ベースに量の見込みを推計。令和2年度から令和3年度の伸び率108.93%。なお、現在の供給体制で対応が可能であり、確保方策の見直しは要しない。

○見直し後の計画

単位 人／年						
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	13,932	9,577	10,432	11,364	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					12,378	13,483
②' 見直し後の確保の内容(人)					-	-
②' - ①'						
確保方策	・保育時間前後の在園児の時間外保育であるため、施設整備等の対応を要しない。 ・利用ニーズに見合う対応が可能となるよう、各事業者に必要な人的配置等について、継続的に働きかけていく。					

4. 利用者支援事業(1)基本型・特定型

【事業概要】

各区に利用者支援員を配置し、保育所等の相談を実施。

○見直し前の計画及び実績

単位 ヌ所						
所管課	保育幼稚園課					
提供区域	行政区					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(ヶ所)	-	5	5	5	5	5
②確保の内容(ヶ所)	-	5	5	5	5	5
確保方策	現在の供給体制で対応が可能					
③実績(ヶ所)	5	5	5	5	※R4年度は見込み数	
②－③	-	0	0	0		
予算	14,570千円	16,784千円	17,795千円			
決算	14,436千円	15,957千円	17,435千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・保育施設の入所斡旋業務の他、認可外施設や幼稚園、その他子育て支援関係施設の紹介など入所斡旋以外の相談対応も行った。

令和元年度相談件数:22,513 件(中央区・東区に各 1 名増員配置)

令和2年度相談件数 :23,764 件

令和3年度相談件数 :22,185 件

○ 分析・課題

・幼児教育・保育の無償化も開始となり、更に多様化するニーズに対応していく体制が求められる。

○ 今後の方向性

・利用者支援員会議や研修などを充実させ、ニーズに対応できる体制を整える。また、より多くの方へ情報提供を行うため、出張相談の充実を図っていきたい。

○ 見直しの判断とその理由

・計画に沿った配置を行い、利用者への情報提供や相談対応適切な対応を行っているため、現行の計画どおりとする。

4. 利用者支援事業(2)母子保健型

【事業概要】

各区及び子ども・若者総合相談センターに子育て世代包括支援センターを設置し、子育て支援を実施。

○ 見直し前の計画及び実績

単位 ケ所

所管課	子ども政策課					
提供区域	行政区					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(ヶ所)	-	6	6	6	6	6
②確保の内容(ヶ所)	-	6	6	6	6	6
確保方策	現在の供給体制で対応が可能					
③実績(ヶ所)	6	6	6	6	※R4年度は見込み数	
②-③	-	0	0	0		
予算	13,129千円	19,583千円	21,721千円			
決算	11,669千円	18,995千円	20,490千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・子育て世代包括支援センター内において、専門職等を配置し、妊娠期から子育て期にわたって相談対応等を行い、切れ目のない支援体制を整えた。

【各区保健指導(健康相談)・子ども・若者総合相談センター(育児面談)延件数】

令和元年度 : 20,314 件

令和2年度 : 12,685 件

令和3年度 : 13,314 件

○ 分析・課題

・子育てや子どもにまつわる悩みや相談は多種多様化しており、とりわけ昨今のコロナ禍に関する相談や不安を抱える保護者が一定数存在する。このような中、対応する職員のスキルが求められる。

○ 今後の方向性

・妊産婦等の支援に必要な実情を把握し、妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行う。また、本市主催や各機関主催研修への参加促進や関係機関との情報交換会実施を検討する。

○ 見直しの判断とその理由

・計画に沿った配置を行い、利用者への情報提供や相談対応適切な対応を行っているため、現行の計画どおりとする。

5. 放課後児童健全育成事業(児童育成クラブ)

【事業概要】

共働き家庭など、留守家庭の小学生を対象に、放課後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全育成を図る事業

○ 見直し前の計画及び実績

所管課	青少年教育課
提供区域	行政区

〔低学年〕

単位 人／年

年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	6,622	6,732	6,862	6,898	6,957
②確保の内容(人)	-	6,622	6,732	6,862	6,898	6,957
確保方策	現状の供給体制での対応が可能 ・施設整備及び学校施設等の活用を行うことで、狭隘な施設の改善を行う。					
③実績(人)	6,222	6,012	6,030	5,903	※R4年度は見込み数	
②－③	-	610	702	959		

〔高学年〕

年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	125	222	393	546	553
②確保の内容(人)	-	1,251	1,272	1,296	1,303	1,314
確保方策	現状の供給体制での対応が可能 ・国基準の施設面積、支援員の体制が確保できたクラブから受け入れ拡充の検討を行う。					
③実績(人)	81	88	122	278	※R4年度は見込み数	
②－③	-	37	100	115		

予算	780,011千円	1,040,976千円	1,037,664千円			
決算	765,851千円	1,013,574千円	1,015,201千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・公営クラブは定員制を設けていないため、低学年と高学年を合わせて令和元年度は 5,674 人、令和 2 年度は 5,475 人、令和 3 年度は 5,527 人の入会要件を満たす者すべての受入れを実施している。民営クラブは令和元年度は 631 人、令和 2 年度は 625 人、令和 3 年度は 625 人を受入れている。

・施設環境の改善等のため、クラブの整備を行った。

令和元年度 10 ヶ所(新規整備 1 ヶ所、学校施設の活用 9 ヶ所)

令和 2 年度 10 ヶ所(新規整備 1 ヶ所、学校施設の活用 9 ヶ所)

令和 3 年度 7 ヶ所(新規整備 1 ヶ所、学校施設の活用 6 ヶ所)

・高学年受入れは、令和 3 年度に新たに 11 校を開始し、公設公営クラブ 80 クラブ中 23 クラブで受入れを実施した。(障がい児についてはすべてのクラブで受入れ)

民間では 15 クラブ中 7 クラブで受入れている。

○ 分析・課題

- ・入会児童の増加のため、施設整備や学校施設の活用等により施設環境の改善を進めているが、事業費の制約がある中、十分な解消には繋がっていない。
- ・クラブの適正な運営には、クラブ実施体制の充実に加え、学校との連携が必要である。

○ 今後の方向性

- ・引き続き、学校との連携を強化する。
- ・放課後子ども総合プランで示されている学校の余裕教室の徹底活用や放課後等における学校施設の一時的な利用の促進について、施設整備と合わせ積極的に取り組む。
- ・高学年受入れは、令和4年に新たに 18 校の受入れを開始し、今後も施設の狭隘さ解消のため施設整備を進め、段階的に規模を拡大しながら、令和 7 年度までに全クラブでの受入れを目指す。

○ 見直しの判断とその理由

- ・低学年、高学年ともに量の見込みと実績に乖離があるため、令和元年度～令和 3 年度の利用実績ベースに量の見込みを推計。

○ 見直し後の計画

〔低学年〕						単位 人／年
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	6,222	6,012	6,030	5,903	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					5,864	5,856
②' 見直し後の確保の内容(人)					6,898	6,957
②' -①'					1,034	1,101
確保方策	現状の供給体制での対応が可能					

〔高学年〕						単位 人／年
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	81	88	122	278	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					409	473
②' 見直し後の確保の内容(人)					1,303	1,314
②' -①'					894	841
確保方策	現状の供給体制での対応が可能					

6. 子育て短期支援事業(ショートステイ)

【事業概要】

保護者の疾病その他の理由によって、家庭において児童を養育することが一時的に難しくなった場合や、経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に児童養護施設等で預かる制度。

○ 見直し前の計画及び実績

単位 延べ利用人数／年

所管課	子ども政策課					
提供区域	市全域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み	-	1,147	1,147	1,147	1,147	1,147
②確保の内容	-	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
確保方策	現状の供給体制での対応が可能 ・児童養護施設(菊水学園、慈愛園子供ホーム、藤崎台童園、龍山学苑、広安愛児園、シオン園) ・乳児院(熊本乳児院、慈愛園乳児ホーム) ・母子生活支援施設(はばたきホーム、きらきら星レジデンス) 10ヶ所 0.5名/日 300日 ≒ 1,300					
③実績(人)	543	655	439	710	※R4年度は見込み数	
②－③	-	492	708	437		
予算	7,100千円	5,652千円	4,500千円			
決算	3,228千円	3,595千円	2,620千円			

○ 令和3年度までの取組状況

受入人数

・令和元年度:10ヶ所(※)

ショートステイ 93 人(延べ 543 日)、トワイライトステイ 19 人(延べ 35 日)

・令和 2 年度:10 か所(※)

ショートステイ 70 人(延べ655日)、トワイライトステイ5人(延べ10日)

・令和 3 年度:10 か所(※)

ショートステイ 60 人(延べ 439 日)、トワイライトステイ 8 人(延べ 29 日)

※それぞれ、緊急一時的に受入れた母子生活支援施設2ヶ所を含む

○ 分析・課題

・令和 3 年度における利用者の減少要因は、令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、子どもの体調等によっては受け入れに慎重を期したこと、施設の受け入れ態勢が整わない時期があったことが考えられる。今後も感染予防策を講じた上で安定的に受け入れを確保していくことが課題である。

○ 今後の方向性

- ・本事業の利用を必要とする母子に適切に対応できるよう、引き続き、施設との連携を強化し、定期的な施設の状況把握に努めるほか、里親を活用する等してより良い母子の支援を行う。

○ 見直しの判断とその理由

- ・新型コロナウイルス感染症の影響から近年の利用実績は減少傾向であるが、令和 5 年度以降、レスパイトケアの拡充を目的とした事業を新設予定であり、利用実績の増加が見込まれるため現行の計画どおりとする。

7. 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

【事業概要】

生後4ヶ月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育について、保健師、助産師又は民生委員等が相談対応・助言を行う。

○ 見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	子ども政策課					
提供区域	行政区					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	6,336	6,223	6,116	6,019	5,930
②確保の内容(人)	-	6,336	6,223	6,116	6,019	5,930
確保方策	現在の供給体制で対応が可能					
③実績(人)	5,701	5,689	5,875	5,853	※R4年度は見込み数	
②－③	-	647	348			
予算	15,682千円	15,571千円	17,700千円			
決算	13,496千円	12,981千円	13,963千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・保健師、助産師又は民生委員等が対象家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や、養育についての相談対応・助言を行った。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域訪問は中止し、区役所や専門職が電話対応した。

令和元年度…訪問数 5,701 人 / 対象者数 6,236 人

令和2年…訪問数(電話訪問含む)5,689 人 / 対象者数 6,153 人

令和3年…訪問数(電話訪問含む)5,875 人 / 対象者数 6,136人

※令和2年度から年間集計に変更

○ 分析・課題

・確保の内容に対して実績が下回っており、現体制で対応可能。新型コロナウイルス感染症に伴う里帰り出産の長期化等により、生後4ヶ月未満での訪問が難しくなっている。

○ 今後の方向性

・引き続き、乳児のいるすべての家庭を対象に訪問又は電話連絡をし、子育てに関する情報提供や相談・助言を行う。

○ 見直しの判断とその理由

・生後4ヶ月までの乳児がいる全戸を訪問するため、2023年と2024年の人口推計が見直しとなったことに伴い、見直し後の推計(0歳)にあわせて量の見込み及び確保の内容を変更。

○ 見直し後の計画

単位 人／年						
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	5,701	5,689	5,875	5,853	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					5,897	5,825
②' 見直し後の確保の内容(人)					5,897	5,825
②' -①'					0	0
確保方策	現状の供給体制での対応が可能					

8. 養育支援訪問事業、要保護児童等支援事業

【事業概要】

(1) 養育支援訪問事業

育児不安等で特に支援が必要な者を訪問し、指導を実施。

委託機関：熊本県助産師会、熊本市社会福祉事業団

(2) 要保護児童等支援事業

要保護児童等支援事業(子どもを守るための地域ネットワーク機能強化事業)として、関係者の相談対応能力の向上を図るため、研修会への参加やスーパーバイザーによる助言・指導を行う。

※要保護児童等支援事業については、量の見込みの設定対象外事業であるため、計画の設定は行わない。

○ 見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	子ども政策課					
提供区域	行政区					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	54	54	54	54	54
②確保の内容(人)	-	54	54	54	54	54
確保方策	実施機関(委託団体を含む)のサービス供給体制に余裕があるため確保できる。					
③実績(人)	29	27	29	33	※R4年度は見込み数	
②－③	-	27	25	21		
予算	5,153千円	4,852千円	6,290千円			
決算	3,455千円	2,796千円	6,222千円			

○ 令和3年度までの取組状況

(1) 養育支援訪問事業

・保健師、助産師又はホームヘルパー等が対象者の家庭を訪問し、養育に関する指導及び助言等を行った。

(実績) 令和元年度 29 世帯 令和 2 年度 27 世帯 令和3年度 29世帯

(2) 要保護児童等支援事業

・要保護児童対策協議会調整機関専門職研修(平成 29 年度より義務化)を実施。

・派遣研修は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。

・スーパーバイザーによる実務者会議での関係機関・職場研修。

・個別ケース検討会議での実務指導

(実績) 令和元年度 167 回 令和 2 年度 152 回 令和 3 年度 141 回

○ 分析・課題

- ・(1)に関し、対象家庭に円滑に支援ができるよう日程の調整等が必要であった。
- ・(2)に関し、対応が困難な事例が多く、スーパーバイザーによる研修のニーズは高いため、感染拡大防止に留意しつつ、効果的な研修方法を工夫する必要がある。

○ 今後の方向性

- ・(1)に関し、受託事業者との連携を密にし、事業を進めていく。
- ・(2)に関し、専門研修の効率的な受講体制を検討し、相談対応の能力向上を図る。

○ 見直しの判断とその理由

- ・確保の内容と実績に乖離があるが、職権で実施する事業であり、訪問が必要な家庭の増減にかかわらず、現状の必要量を確保するため、現行の計画どおりとする。

9. 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)

【事業概要】

地域の保育園に併設し、子育てに関する相談や子育て中の親子の交流の場として利用でき、保育士などが子育ての不安や悩みなどについて相談に応じるほか、子育て支援サービスの情報提供を行う。

○ 見直し前の計画及び実績

単位 延べ利用人数/月

所管課	子ども支援課					
提供区域	市全域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人/月)(カ所数)	-	16,816	16,710	16,635	16,547	16,464
②確保の内容(人/月)(カ所数)	-	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
確保方策	現状の供給体制での対応が可能。 ・1ヶ所当たり20人(10組)×22ヶ所×25日×3つの時間帯(午前・午後・夕方) 利用者のニーズに合わせた配置や機能の見直しを行う。					
③実績(人/月・カ所)	8,977(22)	3,369(22)	2,213(21)	4,972(22)	※R4年度は見込み数	
②-③	-	29,631	30,787			
予算	88,020千円	96,467千円	96,936千円			
決算	72,515千円	85,443千円	79,127千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・令和3年度…公立13センター、私立8センター

※公立には、街なか子育てひろば(1ヶ所)、つどいの広場(2ヶ所)を含む

○ 分析・課題

・実績の低下については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館及び利用制限が影響している。

・ニーズに対しては、子育て支援センターのほかに、児童館や子ども文化会館といった「子育てほっとステーション」全体で対応しており、最寄りの施設の利用が可能となっている。

○ 今後の方向性

・感染防止対策を徹底し、安全に利用できる環境の整備に努めるとともに、SNS等を活用した効果的な周知を図り、利用促進に努める。

○ 見直しの判断とその理由

・量の見込みと実績に乖離があるため、平成30年度～令和3年度(過去4年間)の利用実績の平均値で量の見込みを見直した。また、確保の内容については令和3年度から実施カ所数が21カ所になったが、令和4年度から1カ所増(駅前子育て広場)のため、見直しは行わない。

○ 見直し後の計画

単位 延べ利用人数/月

年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人/月)	8,977	3,369	2,213	4,972	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人/月)					11,045	11,045
②' 見直し後の確保の内容(人/月)					33,000	33,000
②' -①'					21,955	21,955
確保方策	・1か所あたり20人(10組)×22か所×25日×3つの時間帯(午前・午後・夕方)=33,000人 ・個所数はR3に1か所減、R4に1か所増(駅前子育てひろば)のためR4は22か所					

10. 病児・病後児保育事業

【事業概要】

子どもが病気などのため保育所等に預けられない場合で、保護者の就労等により家庭での保育が難しい場合に、小学校低学年までの子どもを医療機関などに併設した施設で預かるサービス。令和元年度より、対象年齢を小学3年生から小学6年生へ拡充を行った。

○見直し前の計画及び実績

単位 延べ利用人数/年

所管課	子ども支援課					
提供区域	市全域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	6,597	6,597	6,597	6,597	6,597
②確保の内容(人)	-	23,520	23,520	23,520	23,520	23,520
確保方策	現状の供給体制での対応が可能 ・最大受入可能人数 80人(8ヶ所)×294日(日曜・祝日・年末年始等を除く)					
③実績(人・か所)	5,336(8)	2,174(8)	3,059(8)	2,471(8)	※R4年度は見込み数	
②－③	-	21,346	20,461	21,049		
予算	111,492千円	110,426千円	98,462千円			
決算	96,021千円	101,183千円	91,576千円			

○ 令和3年度までの取組状況

- ・病児・病後児保育事業は、病児を預かるため緊急事態宣言中でも事業継続し、利用者のニーズに応えることができた。
- ・施設に対しても新型コロナウイルス感染症対策支援経費補助金を交付した。

○ 分析・課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少している。

○ 今後の方向性

- ・市政だよりやホームページを活用し、広報周知に努める。

○ 見直しの判断とその理由

- ・量の見込みと実績に乖離があるため、平成30年度～令和3年度(過去4年間)の利用実績の平均値で量の見込みを見直した。確保の方策については、ニーズには十分対応しているため、見直しは行わない。

○ 見直し後の計画

単位 延べ利用人数/年

年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	5,336	2,174	3,059	2,471	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					4,055	4,055
②' 見直し後の確保の内容(人)					23,520	23,520
②' -①'					19,465	19,465
確保方策	現状の供給体制での対応が可能 ・最大受入可能人数 80人(8ヶ所)×294日(日曜・祝日・年末年始等を除く)					

11. 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)

【事業概要】

子どもを預けたい者や子どもを預かりたい者の相互の支援を実施。

- ・依頼会員 生後 3 ヶ月から小学 6 年生までの子どもをお持ちの方
- ・協力会員 概ね 70 歳までの健康な方

○見直し前の計画及び実績

単位 件／年

所管課	子ども支援課					
提供区域	市全域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(件)	-	3,504	3,504	3,487	3,470	3,424
②確保の内容(件)	-	4,430	4,430	4,430	4,430	4,430
確保方策	現状の供給体制での対応が可能					
③実績(件)	2,317	2,441	3,399	3,158	※R4年度は見込み数	
②-③	-	1,063	105	1,272		
予算	19,712千円	21,296千円	17,633千円			
決算	18,156千円	17,238千円	17,099千円			

○ 令和3年度までの取組状況

- ・会員確保については、広報誌、各種情報誌、SNS を活用し周知に努めた。

令和元年度依頼会員数 2,376 人、協力会員数 863 人

令和 2 年度依頼会員数 2,359 人、協力会員数 811 人

令和 3 年度依頼会員数 2,372人、協力会員数 815 人

○ 分析・課題

- ・令和3年度は主に保育所・学校等休みの時の預かりが新型コロナウイルスの影響により増加したことが要因と考えられる。

○ 今後の方向性

- ・市政だより等の広報活動や、ボランティア団体との連携等により、協力会員の確保を図る。

○ 見直しの判断とその理由

- ・計画に沿って順調に推移しているため、現行の計画どおりとする。



12. 妊婦健康診査

【事業概要】

母子保健法に基づき妊婦への健康診査を実施(妊娠中に最大14回)

※母子保健法第13条:市町村は、必要に応じ、妊産婦又は乳児若しくは幼児に対して、健康診査を行い、又は健康診査を受けることを勧奨しなければならない。

○見直し前の計画及び実績

単位 人/年

所管課	子ども政策課					
提供区域	市全域					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	10,138	9,957	9,786	9,630	9,488
②確保の内容(人)	-	10,138	9,957	9,786	9,630	9,488
確保方策	現在の供給体制で対応が可能					
③実績(人)	10,023	9,884	9,591	9,423	※R4年度は見込み数	
②－③	-	254	366	363		
予算	616,921千円	616,912千円	616,449千円			
決算	573,047千円	564,080千円	554,897千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・妊娠週数に応じて1人あたり最大14回の健康診査を委託医療機関にて実施した。

○ 分析・課題

・妊娠届出数が近年減少傾向であるため、妊婦健診の件数も減少傾向だが、受診率は98.8%と高い。妊娠期の必要な時期に健診を受けられるよう、今後も受診勧奨を行う。

○ 今後の方向性

・妊婦健康診査を医療機関で受診できる体制を継続し、妊婦の健康管理の向上を図る。

○ 見直しの判断とその理由

・2023年と2024年の人口推計が見直しとなったことに伴い、見直し後の推計(0歳)×利用実績(1.6倍)で推計。

○ 見直し後の計画

単位 人／年

年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
③実績(人)	10,023	9,884	9,592	9,423	※R4年度は見込み数	
①' 見直し後の量の見込み(人)					9,436	9,320
②' 見直し後の確保の内容(人)					9,436	9,320
②' -①'					0	0

13. 実費徴収に係る補足給付を行う事業

【事業概要】

保育施設等への保護者が支払うべき日用品等の購入に要する費用の助成を実施

○見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	保育幼稚園課					
提供区域	—					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	設定対象外			-	-
②確保の内容(人)	-				-	-
確保方策	—					
③実績(人)	129	118	117	118	※R4年度は見込み数	
②－③	-	-	-	-		
予算	2,560千円	2,000千円	2,000千円			
決算	1,433千円	960千円	1,031千円			

○ 令和3年度までの取組状況

・生活保護世帯(利用者負担額第1階層)を対象に教育・保育の利用に必要な実費を助成。

令和2年度補助施設:65ヶ所、補助対象者:118人

令和3年度補助施設:66ヶ所、補助対象者:117人

○ 分析・課題

・全対象施設及び全対象世帯に対し通知を行ったものの、申請は保護者判断に委ねられているため、対象者(令和3年9月:208名)に対し、実際の申請数が下回っており(令和4年3月:117名)、一人あたりの申請額も対象者分を大きく下回っている。

○ 今後の方向性

・利用ニーズに的確に対応できるよう各事業者及び対象世帯に対し、継続的に働きかけていく。

○ 見直しの判断とその理由

・量の見込みの設定対象外事業であるため、設定は行わない。

14. 多様な事業者の参入促進・能力活用事業

【事業概要】

- ・保育の受け皿の確保等を行うため、新規参入施設等の事業者への巡回支援を実施。

○ 見直し前の計画及び実績

単位 人／年

所管課	保育幼稚園課					
提供区域	—					
年 度	R元(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)
①量の見込み(人)	-	設定対象外			-	-
②確保の内容(人)	-				-	-
確保方策	—					
③実績(人)	73	73	38	20	※R4年度は見込み数	
②－③	-	-	-			
予算	4,532千円	5,303千円	5,428千円			
決算	4,511千円	4,605千円	5,295千円			

○ 令和3年度までの取組状況

- ・地域型保育事業に対し、主に保育所運営や児童処遇について相談及び助言を行った。

○ 分析・課題

- ・保育を実施する上での必要な保育士数や、備えておくべき必要書類等、各事業者との間で認識に差がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、立入調査を制限する必要があったため、実施方法について検討が必要である。

○ 今後の方向性

- ・良質かつ適切な教育保育の提供体制の確立に向け、支援チームによる巡回支援を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、必要に応じて立入調査に代えてオンライン等での対応も予定している。

○ 見直しの判断とその理由

- ・量の見込みの設定対象外事業であるため、設定は行わない。